

# 道祖神祭り 取材感想

取材 ● 感想

佐藤麻鈴

男根の形をしたご神体は、私の想像を超える立派さでそびえ立つており、そこに鎮座しておきました。神の上に乗るなど恐れ多きことです、足をゆっくりと持ち上げ腰を置くと、ずつしりとした硬さが太ももに響き渡ります。これが神かと、息を飲んだ瞬間、神と私は揺さぶられ、これが一体になることかと大にも召す思いに浸つたことを今でも鮮明に思い出せます。あの瞬間にこそ、神はいるのだと、私は深く実感したのです。

私は、神の存在を体で感じる前に疑問に思つていてことがあります。ご神体は男根の形を成していますが、そのモデルは一体誰なのか、と。もちろん、神であることには間違いないのです。その男根の持ち主を知りたい。私はそう強く感じていました。そうして、祭り主催の方々にお話を伺いました。しかし、そんな簡単に判明するはずもなく時間だけが過ぎ去つていきました。

た。未だに、ご神体のモデルについては謎のままでいるのです。

ですが、今回の取材を通して、私は一つの仮説を立てました。ご神体は男性器の形であり、それ以上もそれ以下でもないのだと。誰をモデルにしたでもなく、性の象徴、または子孫繁栄の象徴、それを求めたゆえの男根型ご神体であるのではないかと、そう思うのです。男性器の形が普遍的なものであるように、誰のモノでもなく、男性器のそのものが必要であつたのだと、強く感じました。

少なかつたです。

夜になつて、ホテルで待つと御神体がやって

きますが、待ちきれなくてご飯を食べ終わつてすぐに御神体を探しにお祭り会場に行きました。すると道中で御神体をかついだ集団と出会いました！ 集団です！ 後ろにぞろぞろとお祭りに参加する人がくつついていました！

私も続こうかなと思いましたが、まだお祭り会場でキノコ汁をもらつていないと、泣く泣くお祭り会場に向かいました。午前中と比べ人が多かつたが、それでもだんだんと人が減つてきて、みんなどこに行つたのだろうと探してみたら、少し離れた広場にいたんです。そこで太鼓の演奏を見て、つ、ついに御神体に乗りました！ ぱちぱち。人が乗つてているのを見たときはどうしてそんなに大きさに揺れているように見せるんだろうとひねくれて見ていましたが、実際、乗つてみると、あら不思議、すごい揺れた！！ いえ、大きさではありません！ 本当にすごく揺れたんです！ アンビリーバボーです。



## 道祖神を知る

もし興味があつて、一度このお祭りに行こうとする女性の方がいれば、ぜひ乗つてみてください！ 子宝飴がもらえます。飴ですよ。

取材 ● 感想

道祖神祭りについては、取材するとなるまではその存在を知りませんでした。個人的に色々と下調べをしていったのですが、調べたものと実際に見たものとは違う感じでした。百聞は一見にしかずとはまさにこのことかと思わされるようなものでした。というのも、お祭りといえば神様を祀っているわけとして、神々しいものというイメージでしたが、写真の通りご神体は：

取材する中で、華やかなお祭りと大変な舞台裏、美ヶ原温泉そのものが抱える問題点なども見えました。

私は、このPLUSi編集部に入るまで取材というものをしてこがなく、人生で初めての経験でした。知らない地で知らない人に話を聞く、私にとっては少しハードルが高いように感じましたが、終わってみれば楽しかったなと思っています。

道祖神祭りについては、取材するとなるまではその存在を知りませんでした。個人的に色々と下調べをしていったのですが、調べたものと実際に見たものとは違う感じでした。百聞は一見にしかずとはまさにこのことかと思わされるようなものでした。というのも、お祭りといえば神様を祀っているわけとして、神々しいものというイメージでしたが、写真の通りご神体は：

いざ、お祭りが始まり、「ご神体が町を回りますが、その担ぎ手はこの土地の人ではないのです。この地域では年々若者が減つていて、ご神体の担ぎ手も減つてしまっているのです。なので、毎年県外などから学生を集めてご神体を担いでもらつていてるそうです。

取材 ● 感想

## 佐野圭祐

地方のお祭りとしては知名度も盛り上がりも大きいと思いますが、やはり地方ならではの問題も垣間見えました。しかしお祭りの盛り上がりはとても良く、私自身もしっかりと楽しめてもらいました。私の書いた記事もぜひとも読んでください。

取材 ● 感想

## 長野和正

小学生以来乗つていなかつた特急列車に乗るということもあつてか少し神奈川から離れた長野県に行くだけだというのに、やけにワクワクしていのを覚えている。もちろん長野県に行く目的は道祖神祭りについて現地の祭りを取り仕切つていて方に聞きに行く！ という大義名分があるのだからワクワクばかりもしていられない。だがしかし、やはり友達と電車に乗り自分たちの住んでいる世界から少し離れた場所

へ行き、しかも旅館に泊まるというのだからワクワクしてしまるのは致し方ないだろう。さらに何と言つても長野へ向かう途中の駅弁！ これは期待せざるを得ない！！ 普段、ニュースなどのメディアで「美味しい駅弁特集」などと言つた番組を観ていると自分には関係ないかあと心の中で嘆き、チャネルを変えていたのだが、そんな自分にもつい駅弁を食べる機会が来たのだからこんなに嬉しいことはない。駅弁なんていつでも食べられるじゃんと思う方もいるだろう。しかし、一人で行動するところが苦手で更に内弁慶な私には駅弁なぞ夢のまた夢であったのだ。話が逸れてしまつたので修正。

長野へと私たちを運んでくれるあずさ22号の中で駅弁との感動の対面、手元から離れていく1200円、ありがとうそしてサヨウナラ、そして、ようこそ北海たるば蟹弁当！ん？北海？ 八王子から長野県に行く電車なのに北海！？ まあ、この際そこは気にしないでおく。味が良ければ全てよしという言葉もあるし（嘘）。気になる味は…うん、コンビニで安い弁当買えばよかつたかなつて感じです。